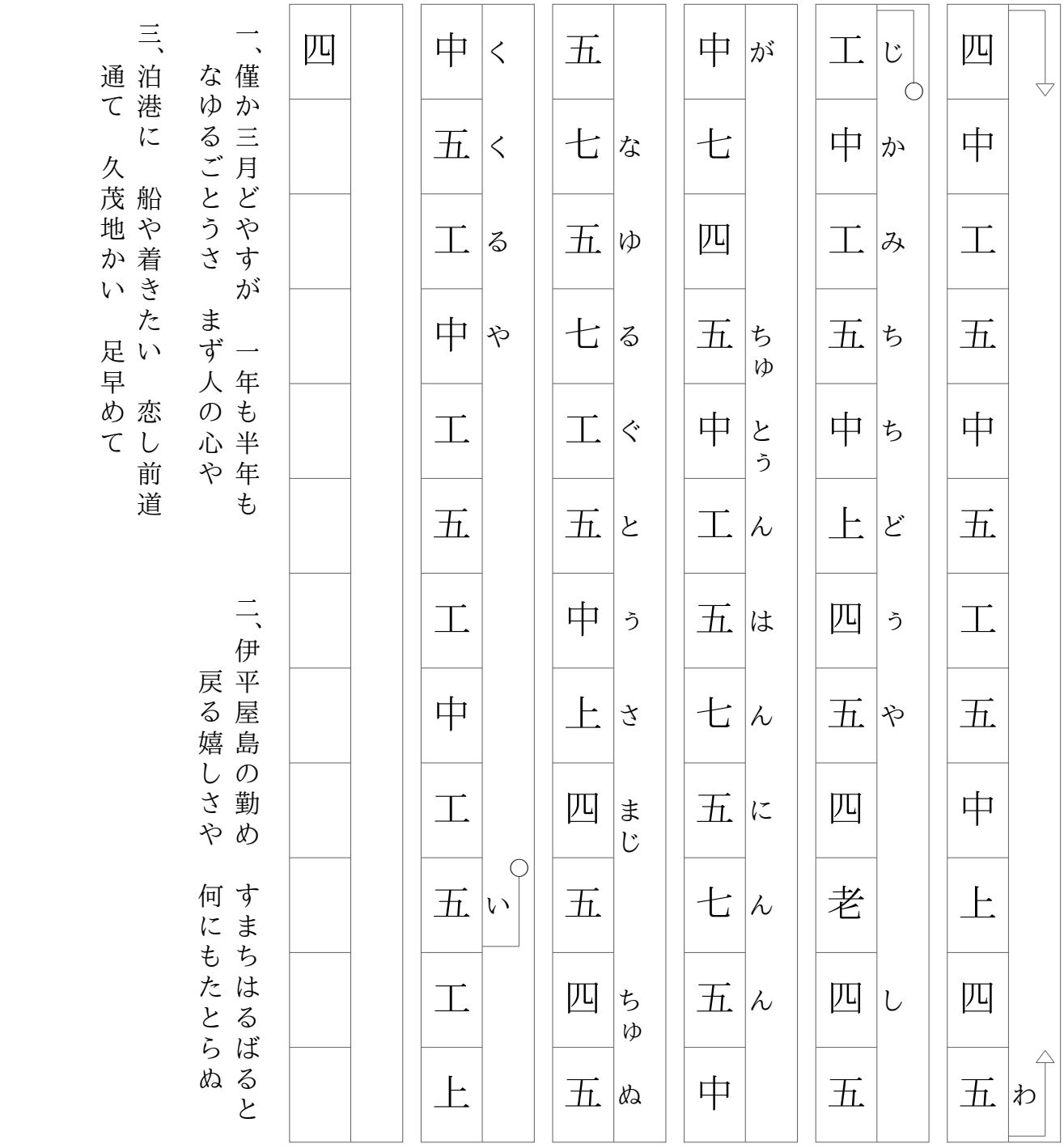
茶売節　泊阿嘉第五幕

一二揚



一、僅か三月どやすが　一年も半年も
　なゆるごとうさ　まず人の心や

二、伊平屋島の勤め　すまちはるばると
　戻る嬉しさや　何にもたとらぬ

三、泊港に　船や着きたい　恋し前道
　通て　久茂地かい　足早めて